



新機能および変更された機能に関する情報

- [Cisco DNA Assurance リリース 2.3.3 の最新情報 \(1 ページ\)](#)

Cisco DNA Assurance リリース 2.3.3 の最新情報

Cisco DNA Assurance ユーザーガイド、リリース 2.3.3.5 および 2.3.3.0 に記載された新機能と機能変更の概要を次の表に示します。

表 1: Cisco DNA アシュアランス リリース 2.3.3.5 の新機能および機能変更

機能	説明
RF シミュレータ	AI RF シミュレータを使用して、現在の RF プロファイル構成への変更をシミュレートし、[Enhanced RRM] ダッシュボードの拡張 RRM ダッシュレットに対して予測される結果を視覚化できます。 拡張 RRM ダッシュボードを使用した RF ネットワークの表示 を参照してください。
クライアントダッシュボードのワイヤレスクライアントのトレンドビューの機能強化	クライアントの正常性サマリーでは、ワイヤレスクライアントのトレンドビューが強化されています。放射状棒チャートは、オンボーディングに失敗したクライアントの分布と、オンボーディング失敗の理由を示します。 すべてのクライアントデバイスの健全性のモニターとトラブルシューティング を参照してください。

表 2: Cisco DNA アシユアランス リリース 2.3.3.0 の新機能および機能変更

機能	説明
Cisco AI Network Analytics : 6 GHz 無線サポート	<p>Cisco AI Network Analytics は、次の機能のために 6 GHz RF をサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ネットワークヒートマップ • AP パフォーマンスアドバイザー • トレンド偏差 (インサイト) • AP RF 統計 • AP スペクトラム解析 <p>ネットワークヒートマップ内アクセスポイントの比較、ワイヤレスアクセスポイントのパフォーマンスアドバイザーを表示する、ネットワークトレンドの表示とインサイトの取得、および RF 統計情報の表示とアクセスポイントのスペクトル解析データの管理 を参照してください。</p>
新しい AP Radio Down の問題	<p>AP の問題に新しい Radio Down の問題が追加されました。Radio Down の問題は、無線がダウンするとトリガーされます。サポートされている無線周波数は、2 GHz、5 GHz、および 6 GHz です。</p> <p>アクセスポイントの問題を参照してください。</p>
AP メッシュ : [Device 360] ウィンドウに追加された情報	<p>[Device 360] ウィンドウの [Mesh] タブにメッシュ AP 情報を表示できます。</p> <p>デバイスの健全性のモニターとトラブルシューティングを参照してください。</p>
新しい AP 無線トラフィック使用率チャート	<p>[AP 360] ウィンドウの [RF] タブの [Detail Information] で、[Traffic Utilization] という新しいグラフを表示できます。このチャートには、受信 (Rx) および送信 (Tx) トラフィック使用率の情報が含まれています。さらに、Rx および Tx トラフィック使用率情報が [Channel Utilization] チャートに追加されました。</p> <p>デバイスの健全性のモニターとトラブルシューティングを参照してください。</p>
[AP Radio Comparison View] に追加された追加の AP 無線チャンネル使用率メトリック	<p>[デバイス 360] ウィンドウでは、次の追加の KPI によって AP 無線を比較できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • トラフィック使用率 • Tx トラフィック使用率 • Rx トラフィック使用率 <p>デバイスの健全性のモニターとトラブルシューティングを参照してください。</p>
パストレースの拡張機能	<p>パストレースの結果には、ACL、トンネリング、およびキューの平均処理遅延、およびパケット ドロップ決定の理由が含まれます。</p> <p>パストレースの実行を参照してください。</p>

機能	説明
Cisco SD-Access : ランジットネットワークとピアネットワーク	<p>SD-Access 健全性ダッシュボードで、トランジットネットワークとピアネットワークの健全性を監視できます。</p> <p>トランジットおよびピアネットワークの正常性の監視を参照してください。</p>
Cisco AI Network Analytics : ネットワークヒートマップのローミング KPI	<p>ネットワークヒートマップは、次のローミング KPI をサポートしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 正常な着信ローミングイベント • 正常な発信ローミングイベント • 着信ローミングイベントの合計 <p>ネットワークヒートマップ内アクセスポイントの比較を参照してください。</p>
Cisco AI Network Analytics : ピア比較 KPI	<p>ピア比較では、次の KPI がサポートされています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オンボーディングエラーソース : ネットワーク内のオンボーディングエラーソースをピアのオンボーディングエラーソースと比較します • ローミングエラーソース : ネットワークのローミングエラーソースをピアのローミングエラーソースと比較します <p>KPI 値をネットワーク内のピアと比較を参照してください。</p>
Intel 分析のサポート	<p>[Client 360] ウィンドウの [Detail Information] に、[Intel Connectivity Analytics] タブが新たに追加されました。このタブは、Intel ワイヤレスアダプターでサポートされているデバイスでのみ使用できます。</p> <p>クライアントデバイスの健全性のモニターとトラブルシューティングを参照してください。</p>
クライアントダッシュボードの強化	<p>アシュアランス [Client] ダッシュボードの [Client Devices] ダッシュレットには、クライアントを追跡し、ネットワークで検出されたときにクライアントに通知できる [Tracked Client] が含まれています。</p> <p>すべてのクライアントデバイスの健全性のモニターとトラブルシューティングを参照してください。</p>
Cisco SD-Access : LISP と Pub/Sub セッション	<p>[SD-Access Health] で、ファブリックサイトにおける [LISP] と [Pub/Sub] のセッションの監視がサポートされます。これらの KPI は、ファブリックサイト、SD-Access トランジット、トランジットコントロールプレーン、およびデバイスの正常性の計算に含まれています。</p> <p>ファブリックサイトの正常性の監視、仮想ネットワークの正常性の監視、トランジットおよびピアネットワークの正常性の監視、およびデバイスの健全性のモニターとトラブルシューティングを参照してください。</p>

機能	説明
デバイスのイベント	<p>このリリース以前は、イベントは[Device] ウィンドウにのみ表示されていました。現在、[Events] ダッシュボードは、デバイスイベントのよりコンテキストに応じたビューを提供します。イベントに関連する他のデバイスに接続されているデバイスによってトリガーされたイベントを検索する代わりに、アシユアランスがこれらの詳細を提供します。</p> <p>イベントの表示と管理を参照してください。</p>

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。